

# 居酒屋 甲子園



これまでの第1回から第3回、そして次回に第4回目を迎える居酒屋甲子園において、どのようなことにチャレンジされているのでしょうか。

これまでは、居酒屋甲子園の実行委員として「参加店舗を集める」という目的で活動してきました。今回は「参加店舗を集める」という目的だけでなく、「実行委員を集める」という目的でも動いています。

具体的にはどのような活動を行っておられるのですか？

「一緒に居酒屋甲子園を作っていく仲間になって欲しい」と呼び掛ける活動を行っています。当たり前前

ことですが、「居酒屋甲子園に参加したい」という気持ちと、「居酒屋甲子園を一緒に作っていく」という気持ちでは、具体的な行動が変わってきます。

参加するだけだと、それぞれ覆面調査をして、点数を競い合う段階で終わってしまうこともありませんが、実行委員になると、参加店舗さん同士など、横のつながりが生まれてきます。

居酒屋甲子園の目的は、あくまで「居酒屋から日本を元気にしたい」です。そのために実行委員があり、皆、それに向けて頑張っています。何百店舗とご参加

頂く中で、優勝する店舗にとってだけ価値あるイベントにしようと

【高橋英樹氏プロフィール】  
株式会社夢笛 代表取締役社長。  
飲食業界に憧れ単身大阪で料理修行に入り、修行を積んだ後、広島にて有限会社夢笛コーポレーション起業。2004年、同社代表取締役に就任。居酒屋甲子園では西日本エリアリーダーとして活躍。その功績から第2代居酒屋甲子園理事長に就任。



「参加する」だけでなく、  
「一緒に居酒屋甲子園を作っていく」  
そんなメンバーを集めたい。

居酒屋甲子園の実行理事長として、  
就任した高橋氏が意気込みを語る。

## 実行委員になりたい方や居酒屋甲子園の情報を得たい方

下記までお問い合わせ下さい。

NPO 法人居酒屋甲子園 事務局

〒150-0002

東京都渋谷区渋谷 1丁目 13-5 大協渋谷ビル 7階

TEL : 03-5774-4727

FAX : 03-5774-4728

E-mail : info@izako.org

URL : <http://www.izako.org/top.html>

またはキーワード検索から

居酒屋甲子園

検索

## 第4回居酒屋甲子園のスケジュール

予選(1次～3次予選まで) : 2月～5月

決勝進出6店舗決定 : 6月上旬

第4回居酒屋甲子園 決勝大会 : 8月19日



原始炭焼 いるり家 東銀座店(東京)。「信じて任せる」ということを徹底して会社の文化にしている。



男のカチンコ厨房おうげん(埼玉)。「あきらめずに最後まで、立ち向かおうとする「想い」と小さな積み重ねが起こした「奇蹟」。飲食店の原点を、強く感じさせた。

食彩浪漫HERO海(熊本)。「ふるさとへの強い想いと、幼なじみ5人の深い絆を感じた。

# 共に学び、共に成長し、共に勝つ



8月20日(水)、パシフィコ横浜にて第三回居酒屋甲子園が開催。全国から居酒屋の経営者・スタッフを中心に約5,000名が集結し、会場は熱気で包まれました。



心に花を咲かせるお店 花 trip (北海道)。「スタッフ総勢23人23通りのおもてなし」一人ひとりの個性を引き出す仕組み、家族の絆にこだわるスピーチがあった。

「この想いではありません。ですから、「居酒屋甲子園の実行委員になって下さい」と呼び掛けるのは、「一緒に、居酒屋から日本を元気にしましょう」と呼び掛けるのと同じです。

実行委員になることは、何かをしなければならぬということではありません。実行委員になることは、実行委員会や、全国の勉強会や情報交換を考えた懇親会に参加することができる権利を持つということです。

実行委員になるメリットにはどのようなことがあるのでしょうか？

情報を得ることができるというのが最大のメリットだと思います。私は、居酒屋甲子園を通じて、全国に知人、友人が出来ました。また、居酒屋甲子園には、繁盛しているお店や、これからどんどん成長しているお店というお店が出る人が多いです。から、皆、何かしら役立つ情報を持つておられることが多いのです。人材育成の仕方、気になる食材や料理のこと、また、助成金の話や、税金対策などの情報交換ができ、とても役に立ちます。その中で、経営に直接役立つ情報をたくさん手に入れることができます。

実際、私は、広島に住んでいます。が、北は北海道から南は沖縄まで、電話一本で情報を聞ける状態になっています。今の自分の会社に、他社の情報が役に立っていることが本場に多いです。

これは何も私が理事をやっているからという理由ではなく、実行委員となり各地の勉強会に参加すれば、誰でも人脈を広げることが可能です。

実行委員になるには、何か資格

居酒屋で働くことを誇りにしてもらえないようにしていきたいですし、そうできるのではないかと考えています。

居酒屋甲子園といえば、決勝戦である壇上での各店舗のプレゼンテーションの印象が強いと思いますが、参加企業から居酒屋甲子園に対する認識のされ方としてはどのように考えておられますか？

どうしても派手なパフォーマンスが目立ってしまっている状況が、これまでの発表にはありませんでした。しかし、何度も言うように私たちの目的は「居酒屋が日本を元気にすること」であり、「元気な居酒屋を作ろう」と

がいるのでしょうか？

エリアごとに実行委員のリーダーがおりますので、そのリーダーの承認があれば誰でもなることができます。基本的には、「共に学び、共に成長し、共に勝つ」という理念、「居酒屋から日本を元気にする」という目的に共感して頂けるのであればOKです。

なぜ、そのような想いで居酒屋甲子園をやっているのかというと、居酒屋というものの新しい常識を作っていきたいという考えがあるからです。

広辞苑で調べると、「居酒屋」は「安くお酒が飲める所」というような説明がされています。しかし、私は「居酒屋」が「日本の食を支える所」、「日本の食文化を作っていく所」という存在になれるのではないかと考えています。

質の高い料理を提供することが出来れば、それを食べた主婦の方は、家庭において、子供たちに食べてもらう料理の質が上がるかもしれません。

また、働く場所としても、居酒屋のように、人と人がこれだけ近い距離で触れ合い、喜んでもらえる場所はないかなと思います。そういった意味でも、是非、若い世代に、

いうものはありません。町を、人を元気にできる居酒屋であれば、別に元気が売りでなくても、料理が売りであっても雰囲気も売りで売っていても良いのです。結果的に「お客様を、町を元気にする居酒屋」が優勝するべきだと考えていますので、自分達が元気であることが条件だとか、派手なパフォーマンスをしなければ優勝できない、というものはありません。静かで淡々としたプレゼンテーションであっても良いと考えています。

そのお店が「如何にして、周りに元気を与えているか」という視点が大事ですから、自分達のお店が何を目指しているか、実際のお客様の反応はどうかという点を考えてもらえればよいと思います。

担当コンサルタントが語る

イザコーは  
ここが凄いい



(株)MS & Consulting  
加地 義太郎

「居酒屋甲子園」というイベントは、有名になりすぎたために様々な見方をされている経営者の方がいます。今回、高橋さんにお話をお伺いして、「居酒屋甲子園」という場の利用方法は自分次第であるということが印象に残りました。その気になれば、全国にある様々なお店の方々と知り合うことができるというのは、情報という武器を手に入れるための良い機会ではないかと思えます。